事務事業評価表

1．基本事項

作成日　令和04年01月21日（金）

事務事業	送配水施設管理事業	担当課	水道工務課	担当係	給配水係	管理番号	3928
第2次総合計画 行政分野別 施策名		事業区分	■ 自治事務	□ 法定受託事務 →	対象拡大 有□ サービス拡充 有□		
大項目	200005 快適で利便性の高いまち（都市・生活基盤）	根拠法令個別計画等	水道法 深谷市水道事業地域水道ビジョン 深谷市水道事業基本計画				
中項目	200001 都市整備の行き届いたまちづくり						
小項目	200002 水の安定供給と下水処理の適正化						

事業概要	本事業は、水道水の安定供給や災害時等のライフラインを確保するため、老朽化した水道管や耐震性の低い水道管の更新を推進するものである。 また、既存する送配水管の維持管理を行うものである。
目的 ※何のために	近年、頻発している震災等における老朽管からの大規模漏水事故等を未然に防止し、安全で安定した水道水の供給を図るため。
対象 ※誰・何を対象に	水道利用者
手段 ※どのように	老朽化した水道管を計画的に耐震管へ更新する。 また、緊急発生した漏水事故に対し、迅速に修繕を実施する。
成果 ※何を求めるか	安全で安心な水道水の安定供給および震災等の災害に強い水道管網を整備する。
執行体制	■ 市職員　■ 一部委託　□ 全部委託　□ 指定管理　□ 市民ボランティア　□ NPO 民間団体　□ その他（　　）

事務事業を構成する予算事業

会計区分	款	項	目	細事業名	前年度決算額（円）
	00	00	00		0
	00	00	00		0
	00	00	00		0
	00	00	00		0
	00	00	00		0

本事業の主な業務

・ 老朽管更新業務	・
・ 配水管網整備業務	・
・ 漏水調査・修繕業務	・
・ 送配水管維持管理業務	・
・	・
・	・

2．事業費（投入コスト）

単位：円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画							
事業費	予算（現額）	0	0	0	0	0	0
	決算額	0	0	0	0	0	0
	財源内訳 国支出金	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	他特定財源	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0	0
人件費	従事職員数（人）	7.62	7.62	6.57	6.17	6.17	6.17
	人件費相当試算 ※1	59,275,980	59,298,840	51,646,770	50,199,120	50,199,120	50,199,120
		0	0	0	0	0	0
（総事業費試算）		59,275,980	59,298,840	51,646,770	50,199,120	50,199,120	50,199,120

※1　人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

事務事業評価表

３．評価指標

グラフ表示	区分	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標なし
■	活動指標１	耐震性の低い管の総延長	目標値	ｋｍ							■
			実績値		438.00	425.00	412.10	399.80	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		老朽管（ＡＣＰ・ＶＰ・ＣＩＰ）実績延長							
		老朽管合計延長									
■	成果指標１	水道管の更新延長	目標値	ｋｍ	10.00	11.00	11.00	12.00	12.00	12.00	□
			実績値		10.68	11.86	11.64	12.27	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		老朽管計（ＡＣＰ・ＶＰ・ＣＩＰ）・Ｒ２まではＡＣＰ更新予定							
		老朽管更新延長									
■	成果指標２	石綿セメント管の残存総延長	目標値	ｋｍ	34.00	23.00	11.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		34.33	22.47	12.17	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		・Ｈ３０～Ｒ２は更新予定延長による見込み　Ｒ２完了予定							
		３条４条分　管種別延長調書									
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									

４．観点別評価　（A：目標値どおり（以上）　B：ほぼ目標値どおり　C：目標未達成　－：目標値の設定がないもの）

活動 （意図した活動を行っているか）	-	目標が設定できないものは、活動指標の数値の推移を説明 耐震性の低い管については、最も漏水事故等の発生しやすい石綿セメント管の更新を重点的に進め、計画どおり更新が完了した。令和３年度以降は、重要給水施設配水管整備や耐用年数を超えた鋳鉄管・硬質塩化ビニル管の更新整備を進める。
成果 （意図した成果が上がっているか）	A	目標が設定できないものは、成果指標の数値の推移を説明 水道管の更新延長については、計画どおり進捗させることができた。これに伴い、石綿セメント管更新は全て完了した。
効率性 （効率的に事務を行っているか）		目標が設定できないものは、効率指標の数値の推移を説明
		評価者　給配水係　松村　正康

５．前年度改善改革プラン達成状況

前年度 改善・改革案	石綿セメント管更新完了後（令和３年度以降）も継続して重要給水施設配水管や耐用年数を超えた鋳鉄管・硬質塩化ビニル管などの耐震性の低い老朽管の更新を実施するため、財政面や直近の漏水状況等を考慮した老朽管更新計画を策定する。 各地区の水道組合と連絡を密にし、迅速な漏水修繕対応等を図る。
達成状況 及び その効果	令和３年度以降の老朽管更新について、事業計画（Ｒ３～Ｒ１２）を策定した。この計画では更新の優先順位を定めており、効率的・効果的な事業の進捗が期待できる。

事務事業評価表

６．所属長評価（今後の方向性）

事務事業	送配水施設管理事業	担当課	水道工務課	担当係	給配水係	管理番号	3928

■ ① 現状のまま継続
□ ② 見直して継続 → □ 委託化等の検討 / □ 成果向上のための改善 / □ 効率化のための改善 / □ 事業規模の縮小 / □ 他の事務事業と統合
□ ③ 拡充・重点化（コスト投入）
□ ④ 目的達成による終了
□ ⑤ 廃止を検討

評価の内容説明

令和２年度で、石綿セメント管の更新が計画どおり完了した。
今後においては、令和２年度に策定した老朽管更新事業計画に基づき、重要給水施設配水管整備や耐用年数を超えた鋳鉄管・硬質塩化ビニル管などの耐震性の低い老朽管の更新整備を進める。
また、漏水や濁り水などに迅速に対応し、安全で安心な水道水の安定供給を行なう。

評価者	環境水道部次長　山中　勉

上記を実施するための具体的な取り組み内容は？

７．改善改革プランと今後の課題

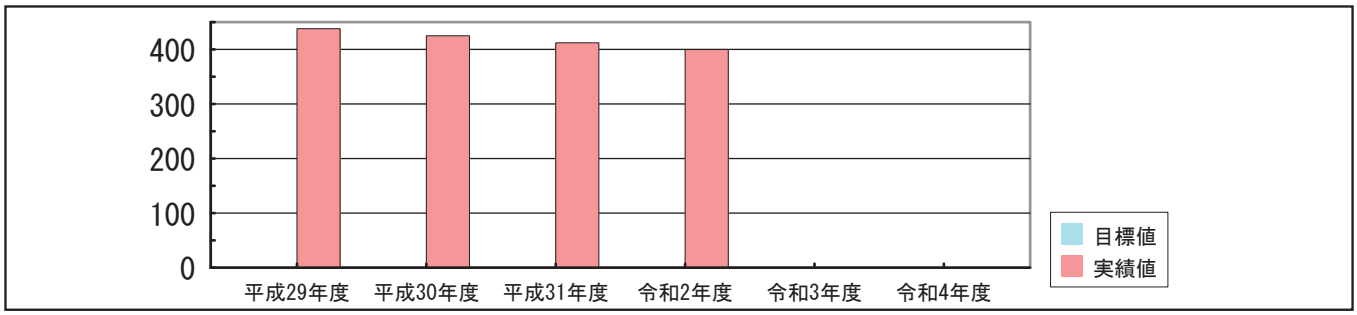
改善・改革案	老朽管更新事業計画に基づき、重要給水施設配水管の整備では補助金を有効活用し整備を進めるとともに、耐用年数を超えた鋳鉄管・硬質塩化ビニル管などの耐震性の低い老朽管の更新整備についても継続的に行う。

８．今後の課題（年度別計画等により実施する取り組み等）

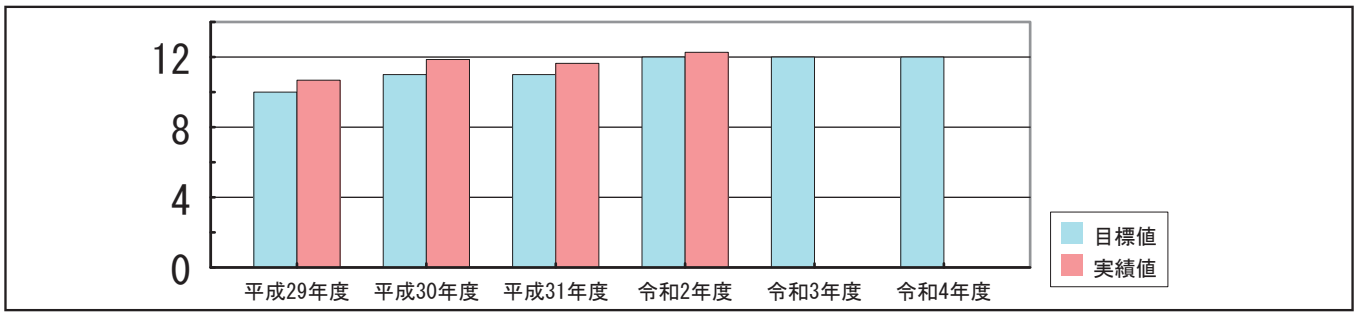
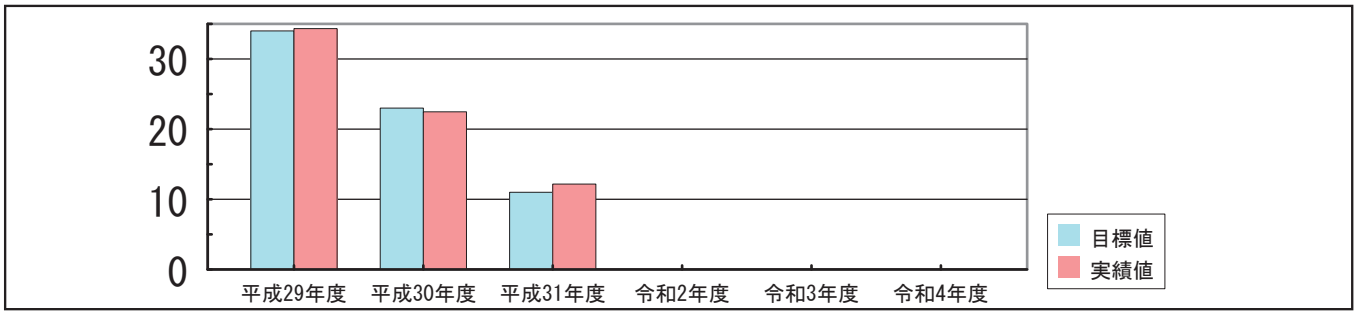
今後の課題	重要給水施設配水管の整備を効率的・効果的に進める。 配水用ポリエチレン管（ＰＥＰ管）の採用口径の拡大を検討し、工事費の縮減につなげる。

９．評価指標グラフ

区分	活動指標１	指標名	耐震性の低い管の総延長



区分	成果指標１	指標名	水道管の更新延長



区分	成果指標２	指標名	石綿セメント管の残存総延長